

利根川の大切さ

五年 成井 響輝

はくの住む坂東市には、すぐ近くに利根川という川があります。

利根川の長さは、三百二十キロメートルで、日本で二番目に長い大きな川です。二百以上の川が利根川に流れていて、関東地方の大半の地域の水が集まっています。古くから人々の生活と深い関係をもっていたので、坂東太郎とも呼ばれ、親しまれていました。

昔は、おおいに役立った反面、たびたび洪水を起し、人々をなやませたりもしました。水害を防ぐ治水事業が成功してから、水をどう利用するか大切なことになりました。

利根川の長い長い歴史のあいだには、川の広い土地の水田にも利用され、村々の井戸水も豊かな水脈によって養われました。

江戸時代から明治時代のころには、水運を利用して、米、魚、酒、しょうゆなどが各地へ運ばれていました。

今では、利根川のいたる所に水力発電所が
でき、関東の重要な電源地域になっています。
利根川には、古い歴史があり、いろいろな
メリツトがあります。なので、これから利
根川を大切に守、ていきたいと思えます。